

第47回

福祉研修大会

7月29日(日)
ノースランド帯広

■メインテーマ■

「つなごう人の輪、守ろう地域の輪」

■テーマ■

—正規雇用で安定就労—
—母子と寡婦 共にはぐくむ子どもの未来—
—すべての子どもに安心と希望を!—



米沢則寿 帯広市長
歓迎のことば
永年勤続表彰の5人



(左から) 中股美千子・岩見かおり・伊藤紀代美・中里なおみ・穴山 栄美(敬称略)

やっと訪れた真夏の太陽の下、ホテル日航ノースランド帯広には550名の参加者が全道各地から参集し、盛大に開催されました。帯広市つくし会甲谷副会長の開会のことばに始まり、畑和子理事長の主催者あいさつ、米沢則寿帯広市長の歓迎のあいさつがありました。ご来賓の方々からは、お祝いのことばが続き、最後に知事さんと帯広市長さん、太谷道議会議長さんへこども代表から感謝の花束を贈り、開会式を閉じました。

また、永年勤続表彰があり、道立北見病院院内保育所保育士勤続40年の中股美千子さんをはじめ道立病院院内保育所保育士の5名の方々に、畑和子理事長から感謝状が贈られました。

プログラム

オープニングセレモニー
オカリナ演奏 富永真智子

開会のことば

母に幸あれ斉唱

黙とう

主催者あいさつ

歓迎のあいさつ 帯広市長 米沢 則寿

感謝状の贈呈

来賓祝辞

来賓紹介

祝電披露

花束贈呈 北海道知事さんと帯広市長さんへ
子どもの代表 高士龍之介くん 6歳
益子 結衣ちゃん 6歳

……小休憩・オリエンテーション……

講演

演題 北海道命名150年記念「松前詰合日記・生きていりゃこそ人生だ!」

講師 オホーツク太郎さん

……昼食・休憩……

アトラクション 帯広市郷土芸能「平原太鼓」

パネルディスカッション

決議・宣言

閉会の言葉

今日の日はさようなら斉唱

散会

市内見学(バス移動)



熱演の
オホーツク太郎さん

講演は、北のストーリーテラー、オホーツク太郎さんを講師にお迎えしました。第1部は新作講演「松前詰合日記」でした。北海道開発に生き抜いた人々の艱難辛苦の歴史の物語は、北海道命名150年記念にふさわしく、会場を魅了する語り口の講演でした。第2部は一転して、「生きていりゃこそ人」



歌に合わせて手拍子の参加者

生だ!」と題して歌の数々でした。しみじみと聴き入り、時には手拍子で参加したり、ステージと会場が一体になる時間でした。